

ゆつくりできる雑貨屋さん

Hang in there ハンギンゼア



代表 片山紀子氏
柏崎市日吉町 9-20 Mビル 1F
Tel・Fax 47-7581

夏のジリジリとした陽射しが照りつける八月上旬。柏崎市日吉町、八号線沿いにある、生活雑貨とギフトのお店 Hang in there (ハンギンゼア)を訪れました。

お店の外観は、カーブしたガラス窓越しに、子供さん向けの小物や、雑貨が見えます。雑貨好きの私は、お店に入る前から、ワクワクしていました。迎えて下さったのは、店主の片山紀子さん。昭和五十二年生まれの四十歳。柏崎生まれ、大洲小、三二中、常盤高校を卒業され、金沢の専門学校に進みました。その専門学校在学中に雑貨のお店でバイトをし、仕入や、陳列の仕方などを覚えられました。平成十二年に長岡のチャレンジショップに応募し、雑貨店を開業。その後、東本町モーリエーに間借りという形で移転しました。

子供さんが、三人いらして、子育てをしている中で、柏崎には雑貨屋さんがないと感じていました。そこで、社長のたまご塾に参加し、今年の五月三日に現在のお店 Hang in there をオープンしました。

店内には、木のぬくもりを大切にしたいと、お父様の手作りの陳列棚やカウンター、ウッドボックスが並んでいます。棚の上には、Baby ギフトや赤ちゃんから子供さん向けの雑貨、結婚祝いに喜ばれそうな食器のセットや、お箸のセットなど、たくさんさんの素敵な雑貨が並んでいます。

ところで、Hang in there の意味は？の質問に、「英語でガンバレの意味なんです。このお店が、いろいろな事に頑張っている人たちに、寄り添うことができる場所に、また人と人との橋渡しが出来たらと思います、付けました」ニコニコしながらお話をしてくれます。

趣味は、デイズニー、特にトイストーリーが大好き。デイズニーランドや、デイズニーシーには、家族で年に何回も行くそうです。お店の中にも大人のデイズニー製品も取り入れていきたいと考えているそうです。窓際には、キッズスペースがあり、積み木、絵本があります。水拭

きで消えるクレヨンで、窓に絵を描くことも、ぬり絵もできたりします。小さなお子様連れでも、ゆつくり、安心して雑貨をみて頂けるように、これからも、キッズスペースの充実に力を入れたいとのことでした。この言葉に随行の◎氏は、「うちの子も、はしゃいで、ゆつくり買いたい物が出来ないんですよ。キッズスペースが、うれしいですね！」と、大いに賛同していました。色々な方々が Hang in there を介して出逢ってほしい。お客様の声を仕入にも反映させて行きたいと。

イベントの開催にも熱心で、市内の中学生とのコラボで、子供さん向けのイベントをしたり、週末には、カブトムシがいたり楽しい事が盛りだくさんのお店です。

私もかわいい蚊取り線香ケースを購入してきました。皆さんも是非可愛らしい、素敵な雑貨を見つけに行ってみて下さいね。

(編集委員) ㊦・㊧取材

